

会議の要旨（議事録）

会議の名称	鳥栖駅東短期施策検討会（第二回）		
開催日時	令和5年12月26日 10:00～	開催場所	鳥栖市役所3階 大会議室
出席者数	委員8名（うち代理1名） オブザーバー1名 事務局5名	傍聴人数	5名
議題	(1) 鳥栖駅東短期施策の検討内容 1. 第一回検討会の振り返り 2. 鳥栖駅東短期施策について (2) 今後の必要検討事項について（提案）		
配布資料	資料1 鳥栖駅東短期施策の検討内容 資料2 今後の必要検討事項について（提案）		
所管課	（課名）都市計画課（電話番号）0942-85-3572		

第二回 鳥栖駅東短期施策検討会

日時 令和5年12月26日（火） 10時～

場所 鳥栖市役所3階 大会議室

1. 開会

事務局	それでは、定刻となりましたので、ただ今から、第2回「鳥栖駅東短期施策検討会」を始めさせていただきます。それでは、今後の会議の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
会長	皆様、おはようございます。年末のお忙しい時期に皆様方お集まりいただきまして本当にありがとうございます。 第1回検討会が8月29日に開催されたところでございますが、その後9月に第1回検討会の議事録を皆様方のお手元に配布し、ご確認いただいたところと存じております。その時点では第2回検討会を2月頃に予定しておりましたが、皆様から議論の経過などを中間報告として早めに開催してほしいとのご意見もありましたので、非常にお忙しい時期にはなりましたが、第2回検討会を開催したところでございます。 本日は大きく2点の議題が挙げられておまして、それぞれ資料が準備されております。中間報告としてこれまでの検討状況につきまして事務局からご説明いただきたいと思います。それでは議事次第に移ります。議題1の項目について事務局より説明をお願いいたします。

2. 議題

(1) 鳥栖駅東短期施策の検討内容

事務局	それでは、資料に沿ってご説明させていただきます。資料1をご覧ください。 【資料1 鳥栖駅東短期施策の検討内容について説明】
会長	ありがとうございました。前回、皆様からいただいたご意見を反映した検討状況のご説明がありました。今回、5案について大まかな費用や期間、問題点等の想定について中間報告でお示しできる内容をご説明いただいたところでございます。前回提示された5案に皆様のご意見を反映したもので検討されております。本検討会の趣旨であります駅東短期施策に必要な視点、利便性、施工期間、財政負担軽減などの要件を踏まえて今回の案をお示しいただきました。ただいまご説明いただいた案について、皆様からのご意見または疑問点などありましたら、ぜひたくさんの方々からご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。挙手をいただきましたらこちらからご指名させていただきます。
委員	示していただいた案についてJR九州との話し合いはされているのでしょうか。
事務局	今回の検討会の開催前ならびに開催後も含め、本日晒した5案をお示しいたうえで、JR九州との協議を行っているところです。
委員	JR九州の誰と話し合いをしているのでしょうか。
事務局	担当部署です。

委員	<p>以前、我々が JR 九州に伺った時は専務（現社長）で、鉄道高架を提案すると鳥栖市の意思次第と回答されました。今回も JR 九州上層部にアプローチすべきではないでしょうか。</p>
会長	<p>今回は、まず担当課との協議を積み上げていっているということで、それが現状の結果報告かと思います。いま頂いた委員のご意見を踏まえながら今後の推進方法について検討されると思います。</p>
委員	<p>資料1の1ページ目（検討会意見）は「暫定でも仮設でも良い」との記載があるが、「暫定でも」は削除いただき、「仮設でも良い」に修正いただければと思います。</p> <p>お示し頂いた案のスケジュールは時間がかかりすぎていると思います。調査設計や埋蔵文化財調査に3～5年っていうのは時間がかかりすぎだと思います。（地下通路案は）線路上で工事するわけではなく、地下を工事するので JR と協議して調整すれば施工期間をもっと短くできるのではないかと思います。いつ完成させるという目標を決めて事業を推進するような考え方で進めていただきたい。このままだと後ろにずれていって短期施策に10年程かかってしまうのではないのでしょうか。仮設でもいいのでもっとスピーディに進めて頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>すべての案に対して最短で進められるよう検討していますが、JR九州との協議は必要で、各部署と調整する協議も必要になりますので、その参考となる期間をお示ししています。今後詳細を検討していく中で協議を行いながらスケジュールを調整していきます。</p>
委員	<p>オリンピックのような形でいつテープカットするのかを先に決めて、それを実現するために調査設計などの取組を進めてほしいと思います。国スポでアリーナやスタジアムでも競技が行われるので来訪者の利便性を向上させるために開催までに実現させることが一つの目標とも考えられます。現実問題として現在は実現が難しい状況と思いますが、いつまでに完成させると早い段階で決め、そこに向けて関係者が結集して取組を進める考え方・進め方が大事だと思います。できる限り早く目標時期を決めてもらって実現に動いてもらいたいと思います。</p>
委員	<p>せっかく5案まで示して頂いているので、この中でどの案が良いのか決めた方が良いでしょう。JR九州との協議も進めやすくなると思います。（提示された案を見ると）第1案は15～20億円規模で事故危険や防犯面、東口改札撤去の懸念があり、第2案は20～25億円規模で鉄道高架の際に撤去になる懸念がありますが、この中で考えると私は第2案が最も効果的ではないかと思います。第5案は北側につくるので駅舎方向に戻らなければいけない（利便性が劣る）。この候補案の中でどの案が良いかを決めた方が JR九州との協議を進めやすいと思います。</p>
委員	<p>（比較表の）利便性向上の欄に安全性の項目があり、事故や防犯面での懸念が挙げられていますが、防犯面とは地下空間の場合に懸念されるということでしょうか。では、既存の地下通路に防犯面での懸念はあるのでしょうか。この内容をご説明いただきたいです。</p>
事務局	<p>比較表作成時の考えとしては、地下の閉鎖空間になると周りから見えない特性があります。通行が多い時は良いですが、周りから目が届かない点は一般的に防犯面の懸念があるということで記載しております。</p>

委員	比較表の内容について、第1案は南側地下通路を延伸して東口をつくる案でしょうか。第3案は従来の地下通路を使わずに自由通路と鉄道利用者の通路を別途設けるといふ案なのでしょうか。第一回検討会での私の提案は、第1案の通路を拡張して自由通路に設ける案をお話しました。
事務局	表現がわかりづらいと思いますが、通路の位置は、便宜上、中央付近に配置していました。南側や北側に配置することもあると思います。今回、ご提案いただいていた南側はJR九州の電気設備などに支障することが課題だったため、便宜上、中央部分に配置しているものの、自由通路の位置は今後検討の余地があると考えています。
委員	既存通路を使う案と新しく地下通路をつくる案は費用が大きく違うのではないのでしょうか。いまは40～50億円と記載されていて費用が大きくなっていますが、従来の地下通路を活用するとこれほど費用がかからないのではないかと思います。
事務局	委員からご提案いただいた案は、東口から駅舎付近まで通路を配置することになり、通路延長が長くなるために第1案の2倍～3倍ほどの費用がかかるものと想定されます。
委員	第1案についてはJR九州側に認めてもらえるのでしょうか。
事務局	お示しした5案はJR九州にも提示して協議はしていますが、それぞれの案に対する良し悪しのご意見は示されておりません。
委員	JR九州も民間なので自社にとってメリットがなければ承知しないのではないかと思います。例えば駅舎がきれいになる等、そういったメリットがないと承知しないのかなと思います。第2案は駅ビルまで作る計画なので、駅舎もきれいになり利便性も向上するので、JR九州も承知してもらいやすいのではないかと思います。示して頂いた5案の中でどの案が良いかここで議論できれば良いのではないのでしょうか。
事務局	当初は2月に検討会を行う目標だったものを中間報告という形で未熟な状態で皆様にお示ししています。この場で何かを決めることは想定しておらず、資料に示した内容のほかにも検討を詰めるべきものがあるため、内容に関するご意見はいただきたいと思いますが、ここで何かを決めるところまでは我々としては考えておりません。
会長	検討会では、これまで先延ばしになってきた事業の突破口、着手する事業として駅東短期施策に取り組む方向性を議論いただきたいと思います。ここで結論を出した案でJR九州に提案するというのではなく、皆様のご意見をいただきたいと思います。市は様々なソフト・ハード問題、財源問題や議会調整などの課題がありますので、検討会委員のご意見を踏まえながら執行部で取組を前に進めていただけたらと思います。
委員	第2案と決めて進めてNGとなれば他の案を進めればよいと思います。推奨案を決めなければ話が進まないと思います。会議も1カ月に1回は開催しなければ、数ヶ月頻度で検討会を行うような形は話が進まないと思います。開催までの期間に第2案についてJR九州と協議する、第1案について協議する等、話を詰めていかないと時間ばかりかかってしまうと思います。

会長	<p>検討会で挙げられた色々な意見を踏まえたうえで、最終的に市が提案をもってJR九州に打診していくこととなります。この場で一つの案に絞ることは検討会の役割としては受けられないと思います。個別の意見で結構ですので、こんな検討をしてほしい等の意見を挙げていただきたいと思います。ご意見を踏まえて執行部が十分に反映して検討を進めてもらうこととなりますので、その点は見守って頂きたいと思います。検討会の中で一つの方針を出すことは我々が委員として任命された以上の役割だと思います。挙げていただいた意見は十分に反映されると思うので、そういったことを含めて本日はご意見いただきたいと思います。</p>
委員	<p>時間がかかりすぎると思います。過去、1年間協議を続けていた取組も最終的に実施しない結論になったことがありました。その時でも1カ月に1回は協議していたので、それくらいの頻度で協議を行わなければ話を進められないと思います。</p>
事務局	<p>これまで一つの方法としては、市で候補案をつくって庁内検討したうえで、検討会に諮って案を決めていく方法を取っていると思います。今回は、まずは市民意見を聞くところからスタートしています。白紙の状態から市民のご意見をいただく形にしており、今後はその意見を踏まえて実務者との協議に入っていくこととなります。委員から提案のあった第1案や第2案を含めた複数案をもって、実務者協議に入っていく形になると想定しています。これまでの方法と違うことをしているので現在の状況になっていますが、次の段階に移る際には皆様のご意見をもって進めていくこととなります。</p>
委員	<p>それはそれで良いです。この場で、5案のうち第1案と第2案に絞り込んで交渉を進めなければ話を進められないと思います。</p>
事務局	<p>市としては5案を提示していく考えでしたが、第1案と第2案に絞り込んでほしいと強い要望があったことは認識して今後の議論を進めたいと思います。</p>
委員	<p>絞り込んでいかないと話は進まないと思います。その後、JR九州との協議を行った結果を報告してまた進めていけばよいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>先程も申した通り、今回の内容は中間報告であり、これが完成ではありません。実現のための課題も内容はこれだけではなく、財政的な問題、財源調達方法など、視点を広げた検討が必要なものを、今回、中間報告という形でお示しているので、月1回の協議などには至らないと思います。内容をきちんと整理したうえで次回検討会を進めたいと思います。</p>
委員	<p>どの案に賛成といった話ではありませんが、埋蔵文化財が存在するとされる土地は鳥栖市の市有地でしょうか。将来の橋上駅にしても高架にしても、掘削工事をすることは変わらないので試掘は先に進められないのでしょうか。</p>
事務局	<p>試掘調査は今年度実施できるよう調整しています。試掘調査で出土があれば本調査に移っていくかと思っています。</p>
委員	<p>スピード感やコストをかけない等は非常に大切だと思います。将来への影響の項目がありますが、将来の影響がネガティブな印象が大きいように思います。つくることがゴールではないため、ポジティブな要素を考えていただきたいと思います。スピード感をもって進めることも大事だと思いますが、作っても使い道がないと意味がないのでポジティブな要素を考えていただきたいと思います。</p>

委員	委員の意見は大事な視点だったと思います。また先程のご意見にあった JR 九州側のメリットについて建屋や設備が新しくなることもありますが、東口をつくることで乗降客数が増えることも大事だと思います。そういったことを検討が可能なかわかりませんが、示すことができれば JR 九州にアピールできる部分になるかもしれません。
委員	第 2 案をみると 20～25 億円規模で、過去の橋上駅案は 125 億円程度かかってしまう話だったと思います。20～25 億円規模であれば十分実現できるのではないかと個人的に思います。1 ヶ月に 1 回の会議を行って、1 案と 2 案について交渉を進めていただきたい。
事務局	第 2 案の費用について、誤解のないように補足説明させていただきます。第 2 案の費用については青色で着色している改札から先の跨線橋部分を想定した費用になります。ご提案いただいた内容は、グレーの着色で示している駅ビルなどを含む案と認識していますが、他案と比べ、短期施策のサービス水準として不釣り合いとなるため、短期施策としては駅ビルは含めていません。
委員	どこかのタイミングで案を絞って JR 九州と交渉していかなければいけない。JR 九州に承知いただけそうな案をもって協議にいかなければならないと思います。
委員	スピード感をもって進めようとの話だと思いますが、色々な案があつて大変だと思います。利便性向上を考えながら、JR 九州のご要望も加味し、尚且つその他の調査も進行中だと思いますが、事業を推進するために進めていただければと思います。毎月検討会を開催するのは大変と思いますが、JR 九州とここまで交渉していると何らかのご案内はできないでしょうか。どの方針でいくかは市で決めていただきたいと思います。
委員	先程の続きになりますが、既存の南側地下通路は高さが低く、高さを広げなければならないという説明があつたと思います。既存地下通路を使うならその点も含めて工事しなければならないのでしょうか。
事務局	ご指摘の通り、既存通路は現行基準に合っておりません。比較表には延伸する新規部分の内容のみ記載しています。既存地下通路の取扱いについては、現時点では検討していません。
委員	第 1 案と第 3 案に誤解があると思いますので、その内容を整理しなおしてほしいと思います。
事務局	検討を進める中でご意見の部分は整理しなおしたいと思います。
委員	第 1 案で南側地下通路を整備する際に、JR 九州に打診をすると既存部分も改良整備する必要が生じるのではないのでしょうか。
事務局	その点は施設を管理する JR 九州のご意向によるものかと思います。JR 九州側で現駅施設の状態を変えるような計画はないと思われます。東口から延伸する地下通路はあくまで暫定と扱われています。そのため、構内にある既存施設について何か整備する意向はないと思われます。

委員	<p>延伸部分は高さを現行基準に合わせなければいけません、既存地下通路は扱わない考えだと思います。接続部分は階段やスロープで考える必要があります。</p>
委員	<p>議論をお聞きする中で短期の定義をもう少し明確にした方が良いかなと思います。期限を切るとは決断が要ることだと思いますが、会議の頻度や今やるべきことが明確になると思います。短期があれば中長期があります。現状の案が一番長い期間で考えると8～13年かかり、長い期間の中で検討する施策は短期施策には合わないと思います。</p> <p>まちがどう豊かになっていくかを考えると、今回の橋（通路）をつくることの先に、駅ビルをつくること、まちの人々の利便性を高めること、サガン鳥栖に多くの来場者がお越しになるので鳥栖市への受け入れ策を考えるなど、短期施策の先が大事な議論だと思います。その先に向かっていま短期施策で何をすべきかを議論していければと思います。</p>
会長	<p>市長任期中に一定の方向性を示す認識ですが、執行部はどのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>短期施策については市長公約にもありますので任期中に一定の方向性を定めたいと思っています。東口を設置する目的は駅東地域の利便性に限らず、土地の高度利用方法や商工団体の進出といったにぎわい創出なども踏まえ、短期施策といえども俯瞰的に考えていきたいと思っています。</p>
会長	<p>それぞれの委員からご意見を出していただいたので、それを踏まえながら執行部には事業推進を図って頂きたいと思っています。</p> <p>次の議題がございますので、議題1については以上で終わらせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>

(2) 鳥栖駅東短期施策の検討内容

会長	<p>それでは、議題2の今後の必要検討事項に提案を受けている件について、本業務の受注者様から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>提案事項ということで本日は資料2をお持ちいたしておりますので、ご説明させていただきます。</p> <p>【資料2 今後の必要検討事項について（提案）を説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。今後の必要検討事項についてまとめてご提案をいただきました。先程委員の方からもご意見がありましたが、ものをつくるだけでなくにぎわいを創出すること、それから段階的な整備として将来につなげることが挙げられました。</p> <p>JR九州のご意見も紹介されましたが、たしかに東口が開通すれば終わりではなく、全体計画の中で短期施策を進めていくことも重要かと思います。ご提案いただいた内容について、ご質問やご意見があればお願いいたします。</p>
委員	<p>商工会議所の考えとして、鳥栖駅を含めた連続立体交差を目指して進めてもらいたい。鳥栖市は物流の拠点も抱えています。元々計画された道路も白紙になって、色々な議論があると思いますが、連続立体交差を行ってもらって鉄道下を道</p>

	<p>路が交差する形をつくり、交通混雑の解消、まちづくりを進めてもらいたいと思います。そうなれば、まだまだ人口も伸び、新幹線もあり特急もあります。以前は寝台特急もあって鳥栖で連結していたが現在はなく、ホーム自体も短く待機場所も少なくないのではないかなと思います。市で鉄道高架用地として確保している公有地がありますので、ぜひ連続立体交差事業を進めてもらいたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど委員が意見された短期の話について、将来は高架化することを目的にしているため、その前段で行っている東側施策が短期の扱いかと思います。新幹線が運行するようになればホームも必要な数が減り、状況が大きく変わってくると思います。ただ、新幹線の計画がいつ決まるかは不透明な状況にあります。そういった状況も鑑み、お金がかからず実現しやすいものから実現に取り組むものです。提案の中にあつた柳川駅のように、虹の橋を改修して各ホームに降りられる形にできれば私は良いものができると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>大事な点としては、どういったにぎわいをつくるかだと思います。延岡の場合は学習だと思いますが、同じものをつくるのではなく、鳥栖市が豊かに、恩恵を受けるにはどんなにぎわいが必要か考えていかなければならないと思います。我々がスポーツ活動をする中で一番困っていることはやはり宿泊施設です。私たちがホームゲームをする際にも確保できない状態があり、スタジアムやアリーナに訪れた人が鳥栖市内で買い物や食事、宿泊できる機能は、このまちが豊かになるものだと思います。このまちにとってどういったまちづくりが必要なのか、そういったこともアドバイスいただけると有難いと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>我々は第3者として検討しつつ、まちに入って皆さんの暮らしを詳しく調べる存在だと思います。全国的な事例でうまくいっている事例もあれば失敗したものもあると思います。成功した取組の要因の一つに民間が協力していることが挙げられると思っています。鳥栖駅で民間事業者と協力した取組を考えていく必要があると考えます。また、イベントを行っている日だけでなく、子育て世代の方々なども日常的に使って頂けるような場所をつくれるように検討や提案をしていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>提案された内容はよく分かりますが、今日の資料にあるにぎわい創出の内容については残念に思います。インターネットで調べれば出てくるような内容が記載されているので、今後、先程お話をされた内容を取り入れた資料にしていければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見がありましたらお伺いしたいと思います。 本日皆様からいただいたご意見は、執行部の方々、本業務の受注者様には今後の議論に反映できるようご助力いただければと思います。</p>

3. その他

会長	その他について、事務局より連絡事項があればお願いいたします。
事務局	事務局より、今後の予定についてご連絡させていただきたいと思います。本日頂いたご意見も踏まえて検討を進めて参りたいと思います。また、駅利用者の意見や現状に関する情報が少ないとのご指摘がありましたので、令和5年12月に歩行者の交通量調査と駅利用者へのヒアリング調査などを行っております。そのような基礎調査も踏まえて検討を深めていきたいと考えています。次回につきましては、年度末の3月の開催を目標に進めて行きたいと考えております。以上、事務局からのご連絡になります。
会長	はい、ありがとうございます。以上で、本日予定しておりました議題については皆様方からのご意見を賜ったところでございます。
会長	内容を整理されると思いますが、意見を踏まえて日程調整をお願いしたいと思います。相手先がいるものなので中途半端な内容で提示することは困難なことと思います。スピード感などは留意しながら今後につなげていただきたいと思います。本日の会議はこれで終了させていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。
委員一同	ありがとうございました。

4. 閉会